

南浦和中だより

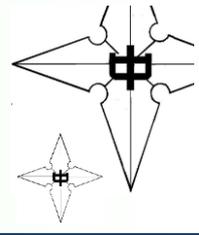
〒336-0026 さいたま市南区辻 6-1-33

TEL 048(863)0753

FAX 048(836)1589

さわやか相談室直通

TEL 048(837)5909



『運命のルーレット廻して』

校長 おおこうちのりかず 大河内 範一



私は電子ゲームにはあまり熱中しなかった。ゲームについてはアナログ派で、ボードゲームを好んで興じていた。正月になると『人生ゲーム』を家族でよく囲んだものだ。あのカラカラと廻るルーレットの音を聞くと、「今年こそ運がよくなる気がする」と、根拠のない自信まで湧いてくるので実に不思議である。

この人生ゲームの歴史を改めて調べてみると、1860年にアメリカで考案され、人生の教訓を盛り込むことを目的に作られたとある。また日本では、すでに60種類以上のバリエーションが発売されていることを知り、その多様さに驚かされた。

『スタンダード版』では、就職や結婚といったライフイベントを経験しながら億万長者を目指していく。結婚のマスに必ず全員が止まったり、自家用車に家族を乗せて大金持ちを目指したりする設定には、当時の「理想の人生像」が色濃く表れている。また、ルーレットによって人生の道筋が決まっていく仕組みは、偶然の出会いや成り行きによって人生が左右される現実の縮図でもあった。

『ジャンボドリーム版』では、宝くじの購入や橋の通行収入などで大金を手にするチャンスがふんだんに用意されている。さらに『大逆転版』では、その名のとおり「逆境からの一発逆転」をテーマに、副業やリモートワークを駆使して人生の再起を目指していく。人生の多様性が、ゲームの中に見事に凝縮されているのである。

『人生ゲームプラス令和版』になると、価値観はさらに大きく変化している。紙幣や職業カードは姿を消し、勝敗を決めるのは、なんとSNSのフォロワー数である。情報拡散や炎上といった現代的な出来事を疑似体験しながら自分のコミュニティを築いていき、最終的に最も多くのフォロワーを獲得したプレイヤーが勝者となる。

そして『100年人生ゲーム』では、一番幸せに100歳まで過ごした人が勝者となる。集めていくのは幸福度を数値化した「ウェルビーイングポイント」、略して「ウェルポ」である。健康重視の「健康マニア」や仕事に情熱を注ぐ「情熱ワーカー」など十数種類の価値観カードから選択し、100年のマスを進めながらウェルポを増減させていく。隣の人と同じ出来事が起きても、価値観によって得られるポイントが異なる仕組みであり、人によって幸せの感じ方が違うということを実感できるのである。

人生ゲームを振り返ってみると、時代ごとに大切にされてきた価値観や幸せの捉え方の変化がよくわかる。そして何より、どのシリーズも「人生は楽しいことで満ちている」というメッセージを力強く伝えてくれているのが嬉しい。

人生のルーレットは、軽やかに、そして温かく廻り続けてくれている。思いがけない出来事に驚かされながらも、そのひとつひとつが自分たちを成長させ、幸せへと導いてくれる。皆さんも、一歩ずつ一歩ずつ、自分だけの物語を紡いでほしい。